

あこし塾長の

## 子のやる気 親の気づき

○○49

バブル景気が崩壊して20年。ゆとり教育世代の子たちには「バブル」は歴史上の言葉であり、経済が右肩上がりに成長するという経験もありません。むしろ景気、雇用、福祉、医療など負担だけは右肩上がりと感じる時代を生きています。海外旅行、マイホーム、マ

第3章・ゆとり教育世代の見えない学力

ほとんどの子どもが書き始めました。この「…」に入る話題は、いつも世相を反映していく、中3生が思う

10年以上前は、南北問題、貧富の格差を挙げる子が多く、優秀な塾生は「豊かさには物質的豊かさと精神的豊かさがあり、私は精神的豊かさこそが…」と

ゆとり教育世代に入り特にこの数年は、環境問題、森林伐採、二酸化炭素という話題から「もったいない」「食べ

たものです。しかし、15歳の春、子どもたちは自分の意志で学校を選びます。小学校から12月の学習相談で初めて

月試験に見立て必死で受験勉強に取り組みました。結果は偏差値56点。1月中旬に学習相談の申し込みが再度ありました。「聞きたいことは」という私の

問いに、彼は「塾長に夢」を語りました。

それから彼は最終模試を本試験に見立て必死に確実に一步近づいたのです。15歳の春、子どもたちは、幼い頃よりできることをやりたいし、無理なことは嫌なもの。そして分からることは怖いので、大きな変化はあります。しかし、いろいろな経験をしてから最も重要なのは、自分の「夢」を語りました。1345話の「ドラえもん」の故藤子・「

山田太郎」が1969年1月号に掲載されました。一通り聞いた後で彼は「北高で10番以内を目指し、3年後の大學生受験にかけます」と立派な態度でした。隣でじっと見守る母親の表情が印象的でした。私は、勇氣ある撤退だと思いまして。ランクを下げることは負けではありません。彼は自分の「夢」を確実に一步近づいたのです。

豊かさ

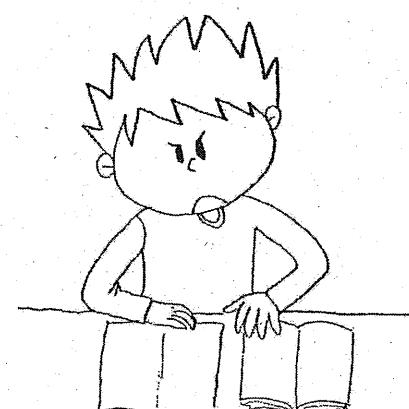
## ランク下げ、負けじやない

イカ…頑張って何かをつかみ取るのではなく、どれかを諦め、分かち合うという若い世代が増えているのも道理かもしれません。

志学塾では2月に入り高校受験の直前講習会が始まりました。私は例年通り国語の最初の時間に「豊かさ」という題で100字以内の作文を書かせました。「日本は豊かな国だ。しかし世界には」という書き出しで

残し」の話題に移り、ついに今年は書き出しました。「豊かさは必要なと思います」と言い

私は偏差値56点の意味



by yoriko

終判断したいと思いました」と。しつかりした落着いた声でした。私は偏差値56点の意味

を乗り越えていくのは、親としても貴重な体験になると思います。子育ては、気づきをもって、共に学び合う取り組みにしたいものです。

（煙山篤＝志学塾長）

めている重要なサイ

メ。目の隅でしつつ指摘する。

たり防犯アザーに手掛けたりと、初動がやめられます。さらに見つづ、方向転換

## 危機の前兆教えよう

教 育

5

どと答えます。突然襲われるようなケースはわずか0・1%。ほと

主意

時」に不釣り合いであげましょう。す。急いで逃げる必要もし、その男性が凝視してきたり不自然に

はありませんが、「変

めている重要なサイメ。目の隅でしつつ指摘する。